

「参加型税制」を考える

～神奈川水源環境税を例に～

地方自治体において様々な環境税導入が提案され、定着しつつあります。特に、森林・水源環境保全のための税制の検討・導入が急速に広まっています。なかでも05年9月に導入が決定され、07年4月から実施されることとなった神奈川県の水源地環境税は、参加型税制という新たなプロセスを提案し実践する試みとして注目されています。

現在、税金に対する不信感が納税者の間で広がるなか、森林・水源環境保全、地球温暖化防止など、環境保全を目的とした税制の検討あるいは導入が、地方自治体及び国で広がっています。神奈川県の水源地環境税の経験は、他の自治体や国の今後の税制構築にも参考になると考えられます。

そこで、環境税制/参加型税制の事例として神奈川県の水源地環境税を紹介し、市民参加型税制の今後の可能性と課題を検討するとともに、森林・水源環境保全/温暖化防止/持続可能な社会の形成のための税制・政策のあり方を展望するために、本セミナーを開催します。是非ご参加ください。

【日時】2007年3月14日(水)
18:30～21:00

【会場】國學院大學渋谷キャンパス

120周年記念2号館1階 2102教室

【交通アクセス】別紙の地図もご参照下さい

JR(山手線・埼京線)渋谷駅から徒歩約13分。
都営バス(渋谷駅東口のりば、学03「日赤医療センター」行、運賃170円)国学院大学前下車

【参加費】一般1,000円 学生500円

(JACSES 賛助会員は無料、サポーター会員は半額)

【主催】「環境・持続社会」研究センター(JACSES)

【プログラム(予定)】(以下、敬称略)

第一部：講演(18:30～19:40)

イントロダクション

地方環境税の動向：足立治郎(「環境・持続社会」研究センター(JACSES)事務局長)

	テーマ	時間	発表者(敬称略)
1	地方自治体の森林保全・水源環境保全のための税の全体像と神奈川水源環境税の特徴・意義・課題	30分	金澤 史男(横浜国立大学教授)
2	神奈川県の水源地環境税/参加型税制の現状と将来	30分	平松 博(神奈川県企業庁経営局長)

第二部：ディスカッション(19:45～21:00)

テーマ：神奈川水源環境税/環境税制/参加型税制の可能性と課題

パネリスト：鎌形浩史(環境省総合環境政策局環境経済課長)

まさのあつこ(フリージャーナリスト)

鈴木直人(千葉商科大学講師)

金澤史男、平松博、足立治郎

司会：古沢広祐(国学院大学教授)

【お申し込み】

「3月14日セミナー参加申込」を明記の上、次のJACSESホームページ(<http://www.jacsces.org/>)から、もしくはFAXにてお申し込みください。

特定非営利活動法人「環境・持続社会」研究センター(JACSES) 担当：荒木

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-2 三信ビル401

TEL: 03-3556-7323 FAX: 03-3556-7328 E-mail: jacsces@jacsces.org

本セミナーは、環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて行われます。

